

2024

同友しずおか6



VOL.547

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった!」

私の逸品

(有)加藤美建

置き茶室

「日本の伝統を世界へ
茶道に新しいかたちを」



静岡県中小企業家同友会



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の成功体験しか聞けない
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 指示待ち社員ばかり
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 失敗談から勇気とヒントをもらった
- 将来の会社のビジョンができた
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒420-0857 静岡県浜松市東区三ヶ日三丁目6-6 FAX/054-255-7820 E-mail/doyu@tsdoyu.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1105 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
おおたけ なおし 大竹 直	アズマのホームクリーニング函南町南箱根ダイヤランド店 ハウスクリーニング	伊 東	HPより
ちば たつや 千葉 達也	千羽コンサルティング 経営コンサルタント	御殿場	支部増強チラシより
いとう としひで 伊藤 寿英	税理士法人セカンドオピニオン 税理士業	静 岡	HPより
しみず ありこ 清水 有子	アリ・パートナーズ 特定社会保険労務士	静 岡	HPより

※新会員の写真は e.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyu からのご確認をお願い致します。

日本の伝統を世界へ 茶道に新しいかたちを

(有)加藤美建 (伊東支部)

代表取締役社長 加藤 幸大氏



海外のお客様が日本文化に触れる機会に 加藤氏 (写真中央)

日本の伝統的な技術に新たな 息吹を吹き込む

愛知県生まれ、伊東市育ちの加藤幸大氏は、数寄屋建築を専門とする(有)加藤美建の代表です。現在では希少となった数寄屋建築の技術を守りながら、現代のニーズに合わせた革新的な商品を提供しています。加藤氏は昨年、創業者である父から事業を継承し、日本の伝統的な技術に新たな息吹を吹き込む役割を担っています。加藤美建は先代社長が「技術に絶対的な自信がある」と話す通り、その確固たる技術力に支えられています。特に注目すべきは、茶道の空間演出を手がける「置き茶室」と「和立礼」の開発です。

どこでも組み立て可能な「置き茶室」

「置き茶室」は2003年に考案された独自商品で、運搬や組立の難易度を極限まで減らす事でどこでも茶道の空間を創出できる画期的な製品となりました。プロの茶道家から海外での使用オファーを受けたり、ロシア・イタリア・ブルネイ等の諸外国からも発注されるなど、国内外で高い評価を受けているそ



どこでも組立可能な置き茶室

椅子に座って茶道を楽しめる「和立礼」

また「和立礼」は、椅子に座って畳の上で茶道を楽しむ新しいデザインで考案された製品です。これは膝の不自由な方や、正座が難しい方も茶道を楽しめるようデザインされたものであり、伝統的な茶道を座椅子で行うことができるため、高齢者や体の不自由な方々にも好評を得ています。

従来であれば茶道を楽しむ環境は限られていましたが、ショッピングモールなどの茶道体験イベントのほか、自然豊かな公園、美しい砂浜など日本の

文化が映える新しい環境でより多くの人々が茶道を体験できるようにになり、和の文化の普及に貢献されています。

和の文化を世界中に伝えたい

未曾有の少子高齢化社会を迎える日本においては和の文化を重要視する若者は減少傾向にあり、事業継承してからの加藤氏は、会社をどう変化させていくかという大きな課題に直面しています。しかし新たな製品を生み出し続けている加藤氏は、伝統を守りつつも革新を忘れない姿勢を見せています。同氏のビジョンは国内に留まらず、高い技術で生み出された和の文化を



椅子に座って茶道を楽しめる和立礼

(有)加藤美建

〒414-0001 伊東市宇佐美2120-2

TEL: 0557-45-0195

URL: <https://katoubiken.jp/>

創業 1972年

設立 1997年

社員数 4名

入会年月 2023年11月

事業内容 木造在来建築、茶室・数寄屋建築、社寺建築

取材・記事：渡辺 淳司氏
(株)ウェックス・伊東支部

世界に広めることにも挑戦しようとしています。「円安の状況を加味して海外で勝負できる」との考えから、解体・分解・組立が容易な製品を開発し、国際的な市場での需要拡大も視野に入れています。和の文化を世界中に伝え、継承するための重要なステップだと同氏は語ります。伊東市宇佐美に根差し、世界に目を向ける加藤美建は日本の美意識と職人技の結晶です。これからも日本の伝統を如何にしていかにし、世界に発信していくのか、その動向から目が離れません。

第51回県定時総会

2024年度スローガン

「50年の歩みを生かし、変化の先へ！」

5月15日(水) グランシップ静岡

5月15日(水)、グランシップ静岡にて第51回定時総会が開催されました。出席者121名、来賓に渥美寿之氏(静岡県経済産業部商工業局長)、清水宏一氏(財務省東海財務局静岡財務事務所長)、笹正光氏(厚生労働省静岡労働局長)、山本義彦氏(静岡大学名誉教授・静岡同友会顧問)をお招きしました。

開会あいさつでは遠藤一秀会長より「実体経済としては新たな資本主義の下、失われた30年といわれるデフレ経済を脱却するチャンス。経営者として難しい決断が求められる時期にある。このような時にこそ同友会の精神を生かし、経営の革新・強靱化にむけて進んでいただきたい」と話し、続いて来賓より祝辞を頂きました。総会審議は、第1号議案から第6号議案まですべての議案が滞りなく承認され、4名の新理事を含む35名の県理事が就任しました。



静岡県経済産業部
渥美商工業局長



厚生労働省静岡労働局
笹局長

2024年度スローガンは「50年の歩みを生かし、変化の先へ！」。同友会



遠藤会長あいさつ

の諸先輩が築きあげてきた50年の歴史と想いを胸に、次なる50年への歩みをスタートする決意が込められています。2024年度活動方針では松葉代表理事から、専門委員会や支部の方針、規約改正や県同友会設立50周年記念事業NEXT50フォーラム等にも触れ、「同友会の未来を築く1年となる。『変化の先』を共通認識とし、企業づくり、地域づくり、同友会づくりが不離一体になるよう、同友会の学びを企業経営に活かす年にしていきましょう」と参加会員に呼び掛けました。

仲間づくり功労者表彰&アタック25の取組み紹介

新しい仲間とともにより充実した活動へ2024年度は1300名会勢をめざす

2023年度は60名を超える会員からご紹介をいただき、県下で102名の新たな仲間を迎えました。総会当日は宇佐美副代表理事進行のもと、3名以上の入会に繋がった8名の方を壇上でご紹介、簗代表理事より表彰を行いました。2023年度増強チャンピオンに輝いたのは4度目の受賞となる江間省豪氏(データマイン株/県組織増強委員長・浜松支部)。表彰後には登壇した8名から参加者へ新しい仲間と楽しい活動づくりに繋げていく仲間づくりへの思いを伝えました。増強チャンピオンの江間氏からは「浜松支部をさらに活性化するために新しい仲間を増やしたい、ここが知り合いを誘う出発点にある。私の心もちは『経営を学ぶ良い場所があるから誘う、最終的に入るかどうかは本人が決める』という考えで誘っている。まず誘い、同友会を知ってもらうことが肝心。全県で団結して共に学ぶ仲間を増やしていきたい。2024年度の目標である1300名会勢達成にむけて参加者へ呼びかけました。アタック25を活用し支部内外の仲間と交流を深めよう！」

会員訪問を通して交流を深めることを目的とした「アタック25」について富士宮支部の取組みを紹介しました。アタック25は福岡同友会の取組みを学び、静岡に取り入

れたものです。進行を務めた穂坂富士宮支部長は「宇佐美副代表理事が支部長時代に全富士宮支部会員を訪問した。それが支部内のアタック25に取り組み風土に繋がっている。会員同士の交流は支部の活性化に大いに効果があると感じている」と伝えました。その後、4月からの1ヶ月あまりで早くもアタック25を達成した磯辺嘉将氏(株磯辺建設/25社訪問)と小野寺敦嗣氏(富士設計株/29社訪問)より取組みを紹介。磯辺氏は「例会や小グループ活動では聞けないような踏み込んだ話までできることが魅力であり、自身の成長に繋がっている」と魅力を伝えました。小野寺氏は「最初に訪問した先輩経営者からの話をきっかけに訪問を続けている。『自分が変われば会社が変わる』それを日々実感している」と自身の経験を伝えました。



仲間づくり功労者チャンピオンに輝いた江間氏

県定時総会 記念企画パネルディスカッション

静岡同友会50年の歴史と繋いできた想い ～次なる50年を見据えて～



左から青山氏、勝又氏、遠藤氏、井上氏

同友会との出会い

草創期の代表理事を務めた勝又悦朗氏は、戦時末期に動員され15歳から国鉄で働き、その後、木工職人をしていた親戚が立ち上げた、現在の(株)青島文化教材社の前身となる会社に入り、1973年に社長に就任し会長まで務めました。同友会の会長を務める遠藤一秀氏は、高度経済成長期の1947年に生まれ、平成バブル崩壊後の1997年に父が創業した遠藤科学(株)の社長に就任。同友会に入会してからは休眠会員の時期もあったものの同友会大学や全国大会に参加することで同友会の面白さに触れ積極的に参加するようになりました。現在、県同友会の代表理事を務める井上斉氏は、1992年27歳の時に同友会に入会、2008年に静岡支部と清水支部が合併した際には、初代静岡支部長を務めました。

同友会運動の進展と事務局体制

遠藤氏は、1998年に県政策委員長に就任、1999年からは景気動向調査をスタート。また、政策委員長として金融アセスメント運動(1997年の金融危機から始まった金融機関の貸し渋り、貸しはがしの動きに対応して、金融機関の営業実態を評価・公開し、金融機関の選択を利用者の

判断にゆだねる仕組みの法制化を目指す運動)にも携わり県内で1万を超える署名を集めました。

事務局長の変遷からみる同友会の変化について3名のパネリストは、同友会の体制づくりに奔走した青木事務局長時代に会員1000名を達成できたこと、外川事務局長の時代には会員主導の会運動が一段と進んだこと、現在の秋山事務局長が就任してからの7年間は労働環境の整備が進み事務局員が定着するようになったと振り返りました。

50年を振り返って―新たな時代へ

勝又氏は「時代の変遷に併せて同友会での学びは変化してきた。一人ひとりの個性が発揮される今の社会において、同友会の『人間尊重経営』がますます重要になってくる」、遠藤氏は「同友会で何度も報告してきたが、我々は株主のためでなく、社員のために経営している。決算書においても『付加価値計算書』を作り利益を社員に還元している。利益優先の時代に地域や社員のための経営『21世紀型企業』を謳っている同友会、外部機関からの期待も大きく、この先の明るい50年がみえる」と話しました。また、井上氏は「同友会で出会う会員の経験、言葉は財産である。それが学べるのが同友会の魅力。また近年は支部を超えた実行委員体制で全県フォーラムを作り上げており横のつながりも増えた。同友会がさらに高みに進むために、全国大会に参加する会員を増やし、同友会で学んで実践する企業を増やしていきたい」と語りました。

新理事の抱負

県定時総会にて、新理事となった4名が語った抱負をご紹介します！



県政策委員長
山田 尚子氏
(株)サンロフト

政策委員会では今年度も景況調査を実施します。この調査は年2回実施しており、皆様からの貴重なご意見を政策提言に反映し、業界や地域社会の改善に繋げています。現在、第50回目となる景況調査アンケートの回答を募っていますので、皆様ご協力をお願いいたします。政策委員長として一生懸命努めて参ります。



県障がい者問題委員長
中村 俊哉氏
(株)シングウ技研

現在、障がい者を取りまく問題は法定雇用率の引き上げなど様々あります。さらに障がい者雇用だけでなく、就労困難者、さらに広く言えば生きづらさを抱えている人々やなかなか社会になじめない人も多い時代だと思っています。そういった中で障がい者問題委員会の名称も含め「あり方」を考えていく大事な一年になると思います。人を生かす経営の源流と言われる障がい者問題委員会の活動について今一度考え、邁進して参ります。

パネリスト..

勝又悦朗氏

元 (株)青島文化教材社／県同友会顧問

遠藤一秀氏

遠藤科学(株)／県同友会会長

井上 斉氏

ワシロック工業(株)／県代表理事

コーディネーター..

青山 達弘氏

(株)青山建材工業／県副代表理事



三島支部長
増田 隼人氏

(株)集客デザイン研究所

今年度の三島支部の
総会において、三島支

部をより良くしていくための支部方針を発表しました。その中の戦略として「1ー2ー3スケールアップ大作戦」というものを打ち出しました。三カ年計画の初年度である今年度は、10の会員拡大、10の他団体との交流、10の支部との交流を目標に掲げました。そして今年度は、東部4支部で合同支部会を企画しております。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



浜松支部長
秋山 英正氏

(浜松資材(株))

ここ数年で浜松支部は人数が増えてきており、さらに活発になっていくと思います。

今後、浜松支部をさらに良くしていく委員会を立ち上げ、中小企業振興基本条例などにも触れながら、会員を増やし、横のつながりを築いていきたいと思っています。支部外の活動にも参加して、会員の皆さんがより知識・経験を得られる会にしていきたいと思っていますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年度の県理事
名簿は、下記QRコード
からご覧いただけます！



東海財務局静岡財務事務所との意見交換会 地域を支える中小企業の実態、連携の重要性を再確認

5月28日(火) 同友会会議室

本年度で8回目となる東海財務局静岡財務事務所との意見交換会を開催しました。

静岡財務事務所からは清水宏一所长はじめ6名、同友会からは遠藤会長、簗代表理事をはじめ8名の総勢14名が参加。はじめに簗代表理事から「長期化する原材料費の高騰、人手不足の深刻化に加え、本日時点で長期金利1.035%との報道にもあるようにゼロ金利を脱したともいわれ、中小企業を取り巻く環境は厳しさを増している。直近の全国、静岡の景気動向調査を見てもDI値はマイナスを示している。意見交換の中で企業づくりのヒントを見つけ、活かしていきたい」とあいさつ。続いて清水所长から「財務事務所の使命として『地域経済への貢献』がある。しかし、待っていても地域の要望やニーズをとらえることはできない。実際に地域の方々との対話を通じて情報を集めることが重要。中小企業経営者の皆さんから忌憚ない生の声をいただきたい」とあいさつ頂きました。

「各社の景況感、賃上げ、人材確保、労務費を含めた価格転嫁、金融機関との連携」をテーマに参加会員の近況や取組、課題を報告。静岡財務事務所からは人材確保や賃上げに関する県内の状況や取り組みが共有されました。財務事務所から賃上げに関する質問を受け会員からは、社員のモチベーションアップや定着を目的に行ったとの意見が多く挙がりました。また、金融機関との連携については、同友会でも学習会を行った「ローカルベンチマーク」や「経営デザインシート」の活用推進を金融機関にも求める声やより長期的な伴走支援への意見・要望が挙がりました。

最後に宇佐美副代表理事より「地域に根ざし、地域を支える中小企業家として、本日の内容を地域に持ち帰り、一人ひとりの会員に伝えていく必要がある。中小企業が活性化しなければ地域は疲弊する。資金面は中小企業にとって大きな課題。同友会が中心となって金融機関との連携を図ってほしい」と伝え、清水所长からは「同友会とより関係性を強めながら地域のために共に歩んでいきたい」とあいさつ頂き閉会しました。

◆参加者名簿

(敬称略・順不同)

静岡財務事務所	氏 名
所 長	清 水 宏 一
総務課長	川 上 正 人
財務課長	林 敬 広
理財課長	倉 地 徹
管財課長	鈴 木 博 文
企画係長	棚 瀬 千 湖



8回目となった静岡財務事務所との意見交換会

第21期経営指針を創る会オリエンテーション 仲間と共に本気で自社・自身と向き合える場、 「経営指針を創る会」とは

5月21日(火) 静岡駅前会議室LINK 301

県経営労働委員会主催の経営指針を創る会では約6ヶ月間、全11講かけて自社の存在意義や経営者としての在り方、経営への思いなどを見つめ直し経営指針書を作成します。第21期経営指針を創る会(以下、創る会)の説明会としてオリエンテーションを開催し、受講希望者・修了生合わせて45名が参加しました。

冒頭、中村佐和子経営労働委員長から創る会の沿革について説明。他県の事例や静岡同友会の創る会立ち上げの経緯に触れ「企業の規模に関わらず、フラットな関係で意見交換できる会であり、経営指針の作り方を学ぶ場ではなく、経営指針を創る場である」と伝えました。続いて山本健二創る会会長から「本気で学びたい人が集まっているから安心して学んでほしい。教えてもらう教える場ではなく皆さんと一緒に討論する中で気付き、それを自社に持ち帰る場です」と創る会の参加姿勢について伝えました。

その後、修了生の感想では、福世裕子氏(有)福世オートサービス・榛南支部)、鈴木竜一氏(有)スズキ工房・静岡支部)が登壇。創る会に参加し、同期生や修了生との討論や課題シートを書き進めていくうちに自身の想いに気づき、自社や自分自身と向き合うことができたこと、また、同期の仲間がいることで乗り越えることができたと話がありました。



創る会受講を検討する参加者とスタッフ

また、経営労働委員会担当代表理事である井上斉代表からは参加者へ「修了生も同じ土俵の中で学び、互いにモチベーションを高め合いながら自社経営を良くしていくてほしい」と話がありました。最後に古川徹氏(株)フルカワ・榛南支部)から閉会挨拶で「今日、参加された受講希望の皆さんは足元だけでなく、社員やお客さん、地域のことを考えてここに来てくれたのだと思います。ぜひ待っていますので一緒に頑張りますよー」とメッセージを送りました。第21期創る会は16名の受講生のもと、6月15日(土)の第1講からスタートします。

5月イントロセミナー

県青年部 スタートアップ座談会 〜同世代と広く繋がり、高め合おう〜

5月24日(金) 同友会会議室&ZOOM

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。5月イントロセミナーは県青年部が企画、運営を行い、同世代で切磋琢磨できる青年部活動の魅力に参加者に伝え、共に学びました。

はじめに、渡邊且真青年部会長より今年度の活動スローガン「同世代と広く繋がりを高め合おう」のもと、体制を一新した組織について紹介。新たに設置された「企画班」では、活動目的を①青年層会員



松田氏



小野寺氏



飯田氏

による学びの場づくり、②切磋琢磨する仲間づくりの拡大と強化、③自社を成長させ静岡同友会を支える次世代人財の成長、と掲げ青年部会員が学びあい成長できる場を四半期に一度計画していきます。

その後、「企画班」の東部地区リーダーの松田翔太氏(株)清栄メン



30名を超える参加者で熱気溢れる会場

テナンス)、中部地区リーダーの小野寺敦嗣氏(富士設計(株))、西部地区リーダーの飯田圭悟氏(株)マテリアルK)の3名からそれぞれ同友会に入会した経緯やこれまでの関わりと自社での実践、青年部活動への想いに参加者に伝えました。最後に「企画班」担当する関那積副部会長から昨年度開催した第2回東海合同例会や青年経営者全国交流会といった県外の経営者と共に学びあう魅力、交流の成果を共有しました。報告後のバズセッションでは「同友会を通してどのような学びを得ていきたいですか?」をテーマに、同友会との関わり、同友会での学びをどのよう実践しているかなどを意見交換しました。

次回のイントロセミナーは、6月28日(金)19時より開催します!皆さんのご参加お待ちしております。



静岡県中小企業家同友会 祝50周年記念事業 NEXT50フォーラム～誰ひとり取り残さない～

2024年11月28日(木)ホテルグランヒルズ静岡にて開催！！
今からぜひご予約ください！

6月・7月

DOYU CALENDAR

6月16日(日)～7月15日(月)

6月 15日(土)	第21期経営指針を創る会 第1講 (9:30 レイアップ御幸町ビル)
18日(火)	【中部】役員研修会 (18:30 レイアップ御幸町ビル&ZOOM)
19日(水)	伊東例会 (19:00 ひぐらし会館) 県共同求人委員会 (19:00 同友会事務局) 沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ) 志太例会 (18:30 焼津PORTERS)
20日(木)	榛南例会 (19:00 榛原文化センター) 中遠・浜松合同例会 (18:30 ワークピア磐田&ZOOM)
21日(金)	富士・富士宮合同例会 (18:30 富士市交流プラザ)
24日(月)	【西部】役員研修会 (18:30 フリーエース美容学校&ZOOM)
25日(火)	【東部】役員研修会 (18:30 三島商工会議所&ZOOM)
27日(木)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
28日(金)	第21期経営指針を創る会 第2講 (19:00 調整中(静岡駅周辺会議室)) 三島例会 (19:00 調整中)

7月 1日(月)	NEXT50フォーラム幹事会⑤ (16:00 同友会事務局&ZOOM)
4日(木)～ 5日(金)	中同協第56回全国定時総会in宮城 (13:00 仙台国際センター)
8日(月)	NEXT50フォーラム実行委員会⑤ (16:00 ZOOM (予定))
9日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート (予定))
10日(水)	御殿場例会 (18:00 時之栖)
11日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局) 浜松例会 (19:00 未定)
12日(金)	第21期経営指針を創る会 第3講 (19:00 調整中(静岡駅周辺会議室)) 富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店)



《あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください》



障がい者雇用についての疑問や取り組みを意見交換

その後、「障がい者雇用について疑問に思うことなど」をテーマにグループ討論を行いました。「障がい者を雇用するために、業務の洗い出しや受け入れる体制を考えていく必要がある」、「合理的配慮に向けて、まず障がい者の方と知り合うことが大事である」などの意見が挙がり、障がい者が働きやすい環境にするために必要なことなどを共有できた意見交換会となりました。

次回は東部地区での意見交換会を7月19日(金)に沼津市民文化センターにて開催します。障がい者雇用をしている方に限らず、障がい者雇用に興味がある、障がい者の方と関わりを持ちたい方など多くの参加をお待ちしております。

5月17日(金)に静岡市にて、県障がい者問題委員会主催 中部地区意見交換会 区関係機関との交流・意見交換会を開催。会員、特別支援学校教諭、障がい者就労支援機関ら併せ19名が参加しました。意見交換会は毎年、東部、中部、西部3か所で障がい者を取り巻く課題や就労の取り組みを共有し、障がい者への理解や就労促進を目指し開催しています。

当日は静岡県立静岡北特別支援学校の望月祐樹・進路指導主事から支援学校での就職までの取り組みや就職後のフォローについて報告いただきました。製造業の省人化が進み、これまで雇用のなかった業種への就職が増えていたりことや、就職前に職場実習や面談を繰り返し行い、学生本人の意向を聞くことで入社後のギャップを減らすよう努めているとお話がありました。

県障がい者問題委員会主催 中部地区意見交換会
障がい者の就労促進に向け学校・関係
機関と意見交換

5月17日(金) 同友会事務局会議室